

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の被害状況について

1 地震に関する状況

1) 震源に関する情報

発生日時 平成 23 年 3 月 11 日 (金) 14:46 頃
震源地 三陸沖 (北緯 38.0 度、東経 142.9 度)
震源の深さ 約 10 k m
規模 マグニチュード 9.0

2) 震度に関する情報 (市内の最大)

震度 5 強 (南郷区)

3) 津波に関する情報

津波警報 (1 m) 発表 14:49 (青森県太平洋沿岸)
大津波警報 (3 m) へ切り替え 15:14 (青森県太平洋沿岸)
大津波から津波警報 (高いところで 2 m) へ切り替え 3 月 12 日 20:20 (青森県太平洋沿岸)
第 1 波 15:22 -0.8m
最大波 16:51 2.7m以上

2 八戸市災害対策本部 3 月 11 日 15:00 設置

第 1 回本部員会議 3 月 11 日 15:00
第 8 回本部員会議 3 月 23 日 16:00

3 対応状況

- 沿岸部の住民に避難指示 3 月 11 日 15:05
 - ・対象世帯 12,859 世帯 対象人員 29,857 人
- 避難所 25 か所の開設指示 3 月 11 日 15:05
- 防災無線 (15:05~)、消防関係車両による広報
- 避難者への毛布・食糧などの配布
- 要援護者調査 (電話による聞き取り)
- 自衛隊へ支援要請し、炊き出しや海洋探査船「ちきゅう」からの救出など
- 災害ボランティアセンター設置 3 月 14 日 15:00~ 八戸市総合福祉会館 1 階ロビー
- 災害義援金受付口座開設 3 月 16 日~
- 被災者総合相談窓口設置 3 月 17 日~ 09:00~18:00 「はっち」5 階
- 避難所巡回相談 (3 月 22 日~24 日) り災証明書、市営住宅等一時入居の相談

4 避難所及び避難者

- 最大避難所数 69 箇所 (3 月 12 日 00 時 00 分現在)
- 最大避難者数 9,257 名 (")
- 最新避難所数 9 箇所 (3 月 23 日 06 時 00 分)
- 最新避難者数 281 名 (")
- 避難指示等発表状況
 - 3 月 11 日 15:05 避難所開設、避難指示
 - 3 月 13 日 18:02 避難指示解除
 - 3 月 14 日 10:46 避難勧告 (11:15 久慈港 潮位 -50 cm 海上保安部より)
11:16 避難指示へ切り替え
12:30 避難指示解除

5 主な被害状況等（平成 23 年 3 月 22 日 17:00 現在）

被害区分	被害の状況
1) 人的被害	○ 死亡 1名 ○ 行方不明者 1名 ○ 重傷 2名 ○ 軽傷 11名
2) 建物被害	○ <u>全壊 218棟</u> ○ <u>大規模半壊 68棟</u> ○ <u>半壊 389棟</u> ○ <u>一部破損 359棟</u> ○ 床上浸水 1,600 世帯
3) 観光関係施設	○ マリエントで海水汲み上げポンプ水没のため使用不可等 ○ 蕪島周辺でトイレ水没、プレハブ売店流出 など ○ 白浜海水浴場施設（トイレ、監視棟）シャッター、窓ガラス破損 など ○ 種差海岸遊歩道 遊歩道の一部損傷及び案内版破損 など
4) 商工関係	○ 八戸港国際物流ターミナル 事務所 2階部分の崩落 など ○ 八戸駅前連絡通路 ユートリー及び八戸駅舎との接合部分の破損等 ○ 八戸地域地場産業振興センター 内壁面及び窓ガラス等破損
5) 農林関係	○ 市川地区の水田、畑の浸水、いちご等栽培用パイプハウス全壊 ○ 八戸苺生産組合の建物被害 など
6) 水産関係	○ 第1魚市場、第2魚市場、第3魚市場、卸売場 卸売業者詰所全壊等 ・ 第3魚市場で津波浸水約 2m ○ A棟、B棟 大型タンカー岸壁乗り上げ、魚体搬送設備、製氷設備破損等 ○ 水産会館 1階各室 全損 ○ 一種漁港（白浜ほか） 作業小屋全壊、漁船破損・流出 など ○ 漁船 中型いか釣り漁船 岸壁打ち上げ（6隻）等 ○ 水産加工場等施設の1階部分全損 など ○ 市川船溜り 漁協施設全損、漁船流出 など
7) 福祉関係	○ 新湊はますか保育園、浜市川保育園 津波により壊滅状態 ○ しみず保育園ほか3保育園 トイレ壁タイルにひび等 ○ 老人いこいの家海浜荘 1m20cm 浸水
8) 建設関係	○ 館鼻汚水中継ポンプ場 津波によるポンプ場建物・設備の損傷 ○ 市川町字下揚地先水路 延長 L=350m、厚さ 30cm 約 770 m ³ 土砂堆積 など ○ 市道桔梗野長者久保線陥没 L=7.0m W6.0m 沈下量=42cm（応急復旧済） ○ 市道 61 路線 ごみ流出堆積（うち市道白浜海水浴場線通行止め）等 ○ 八太郎北防波堤先端部を中心に損壊 3割程度 など
9) 体育施設関係	○ 長根公園 パイピングリンク破損、体育館の階段モルタル落下等 ○ 南部山健康運動センター 体育館天井パネル落下等
10) 文教関係施設	○ 八戸小学校ほか <u>37</u> 小学校 外壁剥離・落下等 ○ 第一中学校ほか <u>14</u> 中学校 E X J 破損等 ○ 小中野公民館ほか 9 公民館 床ひび割れ、天井はがれ等 ○ 給食センター 北地区ほか 3 給食センター 調理場天井の一部剥離・落下等 ○ 八戸市公会堂 音響反射板昇降用マシン・ガイドレール破損等 ○ 八戸市公民館 外壁ひび割れ、タイル剥落等
11) ライフライン	○ 東北電力（地震直後から市内全域停電） ・ 3月12日夜 市内順次復旧（市庁 3/12 22:15 復旧） ・ <u>3月22日 18:00 八戸市内停電件数 487 件</u> ○ 八戸ガス 3月12日 13:00 以降大口需要先（市営住宅等）12件で供給停止 3月14日 00:30 都市ガス供給開始

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水道 南郷区島守地区 水源地取水停止（復旧済） ○ 鉄道 <u>青い森鉄道（3/23）【青森～八戸】通常ダイヤの9割程度の運行</u> <u>JR八戸線（3/23）【八戸～鮫】運行本数を大幅に減らして運行</u> <u>（3/23）【鮫～久慈】運転見合わせ</u> <u>東北新幹線（3/23）【盛岡～新青森】3月22日運転再開</u> <u>【那須塩原～盛岡】運転見合わせ</u> ○ 高速道路 <u>【八戸道】全線・全車両通行可能（安代JCT～南郷IC 3月22日 10:00～）</u> <u>【東北自動車道】全車両通行可能（浦和IC～宇都宮IC 3月19日 正午～）</u> <u>全車両通行可能（一関IC～碓ヶ関IC 3月22日 10:00～）</u> <u>緊急車両・大型自動車等のみ（宇都宮IC～一関IC 〃）</u>
12) 公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市庁本館 天井材、壁材の一部剥離・落下（主に4～5階）等 ○ 防災無線 津波浸水により一部放送不可 ○ 南郷区役所 庁舎天井照明落下破損等 ○ 八戸市斎場 電気温水器配管破裂等 ○ まつりんぐ広場おまつり広場路面段差延べ11m

八戸市にゆかりのある岩手県・宮城県太平洋沿岸市町村への
物資等緊急支援について

1 趣 旨

当市とゆかりのある市町村のうち、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震により、甚大な津波被害を受けた太平洋沿岸の団体に対し、食料・生活物資等の緊急支援を行うもの。

【参考】広域交流・広域連携により、八戸市とゆかりのある太平洋沿岸市町村

- ◎八戸圏域定住自立圏 おいらせ町、階上町
- ◎三圏域連携懇談会 久慈市、洋野町、野田村、普代村、おいらせ町（再掲）、階上町（再掲）
- ◎三陸沿岸都市会議 久慈市（再掲）、宮古市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、気仙沼市
- ◎北奥羽開発促進協議会 三沢市、おいらせ町（再掲）、階上町（再掲）、久慈市（再掲）、洋野町（再掲）、野田村（再掲）、普代村（再掲）

2 主な経過

○3月14日 支援対象市町村に、支援の必要の有無及び希望物資を照会
～15日

○3月16日 県市長会・県町村会に、県内各市町村に対して、当市ゆかりの沿岸都市へ支援物資の搬送を行うに当たり物資提供の呼びかけを要請

○3月18日 全国市長会ホームページに、上記と同様に物資の提供依頼を掲載

3 物資受入状況

受入日	提供自治体名	主な受入物資
3月18日	五戸町	りんごジュース（100箱）
3月18日	平内町	ゴミ袋（80箱）、衣料品（45箱） ほか
3月18日	五所川原市	米（5kg×600袋）、りんごジュース（100箱）
3月19日	中泊町	米（10kg×210袋）
3月19日	鶴田町	米（10kg×160袋）
3月21日	松本市 （長野県）	紙おむつ（大人用・子供用 約100箱）、粉ミルク（20箱）、 ティッシュペーパー・トイレットペーパー（50箱）、米（25kg×20箱） ほか
3月22日	青森市	米（10kg×100袋）、アルファ米（5,000食）、 マスク（100,000枚）、りんごジュース（1000箱） ほか
3月22日	三沢市	水（200箱）、スポーツドリンク（25箱）
3月22日	深浦町	にんじんジュース（150箱）

4 物資提供状況

支援物資については、別に青森県、日本青年会議所、J C北海道地区協議会から当市へ提供された物資の一部を、前記各自治体から受け入れした物資に加えて提供している。

搬送日	支援先団体名	主な提供物資
3月16日	釜石市 ※陸上自衛隊 トラック 23台	米 (2,000kg)、リンゴ (1500箱)、水 (125箱)、 缶詰 (2,000個)、レトルトごはん (1000食) ほか
3月19日	久慈市 ※野田村分と合わせて、民間トラック 10t車1台	毛布 (20枚)、タオル (5箱)、カップ麺 (20箱)、 アルファ米 (200食)、りんごジュース (10箱) ほか
	野田村	レトルトごはん (1000食)、カップ麺 (20箱)、 紙おむつ (20箱)、りんごジュース (90箱) ほか
3月24日 (予定)	宮古市 ※陸上自衛隊 トラック 3台	米、水 (150箱)、ゴミ袋 (25箱)、りんごジュース (500箱)、 にんじんジュース (150箱)、 紙おむつ (大人用・子供用 90箱)、粉ミルク (10箱)、 ティッシュペーパー・トレットペーパー (65箱)、衣料品 (50箱) ほか
	大船渡市 ※陸上自衛隊 トラック 4台	米、水 (150箱)、アルファ米 (5,000食)、 ゴミ袋 (25箱)、りんごジュース (600箱)、 紙おむつ (大人用・子供用 110箱)、粉ミルク (25箱)、 ティッシュペーパー・トレットペーパー (40箱)、衣料品 (40箱) ほか
	気仙沼市 ※陸上自衛隊 トラック 6台	米、水 (150箱)、ゴミ袋 (30箱)、スポーツドリンク (25箱)、 紙おむつ (大人用・子供用 130箱)、粉ミルク (30箱)、 ティッシュペーパー・トレットペーパー (55箱)、衣料品 (70箱)、 マスク (100,000枚) ほか
3月25日 (予定)	宮古市 ※陸上自衛隊 トラック 1台	24日積み込みができなかった分

被災者生活再建支援金制度、住宅対策、り災証明書
に係る避難所の昼間・夜間巡回相談について

1. 日 程 3月22日(火)～24日(木)

2. 相談内容 昼間：住宅対策、り災証明書に係る相談

(建築住宅課、雇用支援対策課、住民税課、収納課)

夜間：被災者生活再建支援金制度、住宅対策、り災証明書に係る相談

(福祉政策課、建築住宅課、住民税課、収納課)

3. 昼間の巡回予定

	避難所	避難者数	避難世帯数	訪問時間		
				3/22 (火)	3/23 (水)	3/24 (木)
1	市川公民館	48	14	9:30～12:00		
2	海上自衛隊体育館	122	40	13:00～16:30		
3	根岸公民館	2	2	16:45～17:15		
4	三八城公民館	7	6		9:30～10:30	
5	福祉公民館	6	4		11:00～12:00	
6	湊公民館	52	30		13:00～15:30	
7	白銀公民館	13	7		16:00～17:00	
8	鮫公民館	26	14			9:30～10:30
9	種差生活館	5	1			11:00～12:00

4. 夜間の巡回予定

	避難所	避難者数	避難世帯数	訪問時間		
				3/22 (火)	3/23 (水)	3/24 (木)
1	海上自衛隊体育館	122	40	/	18:00～20:00	
2	三八城公民館	7	6		18:00～20:00	
3	市川公民館	48	14		18:00～20:00	
4	鮫公民館	26	14			18:00～20:00
5	白銀公民館	13	7			18:00～20:00
6	湊公民館	52	30			18:00～20:00

※根岸公民館、福祉公民館、種差生活館については、避難世帯数が少ないため個別に対応

八戸市災害ボランティアセンターの状況報告について

【平成23年3月22日（センター設置9日目）現在】

1. センターの設置

- (1) 開設年月日 平成23年3月14日（月）午後3時
- (2) 開設場所 八戸市総合福祉会館 1階ロビー
〔住所：八戸市根城八丁目 8-155
電話：73-3311, 47-1653 電話・FAX：73-3312〕
- (3) 開設時間 午前9時から午後4時まで
(14日は、午後3時から午後4時まで)
- (4) ボランティア募集休止期間 平成23年3月19日（土）～3月20日（日）
- (5) ボランティア募集再開日時 平成23年3月21日（月） 午前9時

2. 事業内容

市災害対策本部等との連携により、被災者のボランティアニーズとボランティア希望者のマッチングを行い、ボランティアによる避難所支援や被災家庭の掃除・片付けなどの各種支援活動を実施する。

3. 体制

- (1) 本部長 八戸市社会福祉協議会 柳町信廣常務理事
- (2) 副本部長 八戸市社会福祉協議会 浮木隆事務局次長
- (3) スタッフ 八戸市社会福祉協議会職員
県内社会福祉協議会応援職員
災害ボランティアネットワーク八戸

4. センター設置の周知方法（一時休止、募集再開を含む）

- (1) 八戸市ホームページへ掲載、ほっとスルメールやTwitterの活用
- (2) 八戸市社会福祉協議会ホームページへ掲載
- (3) 報道機関への投げ込み（テレビ・ラジオによる呼びかけ、新聞記事による周知）
- (4) 各避難所及び市内各所（公民館等）へチラシを配布
- (5) 被災地への戸別訪問によりチラシを配布

5. ニーズの掘り起こし

- ・テレビ、ラジオによる継続的なニーズ募集報道の依頼
- ・15日に民生委員地区会長25人へニーズ募集のチラシを送付
- ・16日～18日にかけて、市職員、社会福祉協議会職員及びボランティアが被災地を回って戸別に聞き取り（主に湊地区、白銀地区、鮫地区、小中野地区、江陽地区）

6. ボランティア実施状況

		依頼（対応件数）		ボランティア活動			
				登録数（人）		実働数（人）	
		当日	累計	当日	累計	当日	累計
14日	月	0	0	1	1	0	0
15日	火	17	17	98	99	67	67
16日	水	19	36	159	258	99	166
17日	木	45	81	299	557	221	387
18日	金	55	136	166	723	269	656
19日	土	50	186	43	766	268	924
20日	日	29	215	13	779	139	1,063
21日	月	53	268	118	897	257	1,320
22日	火	56	324	120	1,017	298	1,618

7. 主な活動及び派遣先

活動内容	派遣先と派遣人数		
被災者支援 ・家屋からの泥出し ・ゴミ出し作業 ・家具の運び出し	市川地区	1,084人	白銀地区 143人
	湊地区	71人	根岸地区 63人
	鮫地区	34人	河原木地区 13人
江陽地区	105人	小中野地区	36人
根城地区	3人		
避難所支援 ・避難所の清掃	市内避難所（6ヶ所） 23人（2日間）		
救援物資の運び出し	長根体育館 29人（2日間）		
ボランティアセンター運営補助 ・衛生班 ・送り出し班	総合福祉会館 14人（1日）		

8. その他

●ボランティア登録者の年齢構成

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計
443人	234人	138人	88人	52人	42人	5人	15人	1,017人

※10代のうち18歳以下は403人

担当：市民連携推進課（内線 623、657、618、627）

広報はちのへ4月号別冊「災害特別号」の発行について

東北地方太平洋沖地震により被災を受けた方々が必要とする支援情報、及びすでに印刷を終えていた「広報はちのへ4月号(3月20日発行)」の内容変更の情報を別冊(災害特別号)としてまとめ、「広報はちのへ4月号」と一緒に配布する。

1 ページ数 4ページ

2 作成等スケジュール

3月17日(木)～21日(月・祝)	編集作業
22日(火)	校正・入稿
23日(水)～26日(土)	印刷・製本・ポスティング業者等へ搬入
28日(月)前後から	配布

3 掲載記事の内容

① 市長から市民へのメッセージ「市民の皆さまへ」

② 被災者向け広報(23項目)

1 総合相談窓口の開設/2 災証明書の発行/3 災害ごみの処理方法/4 災害ボランティアセンター/5 市税の減免/災害弔慰金支給条例に基づく支援(6 弔慰金・7 障害見舞金・8 援護資金貸付)/被災者生活再建支援法に基づく支援(9 基礎支援金・10 加算支援金)/社会福祉協議会で行なっている貸付金(11 生活福祉資金貸付金/12 緊急小口資金貸付)/13 母子寡婦福祉資金貸付金/14 遺児卒業祝金の申請期間延長/15 国民健康保険・後期高齢者医療制度一部負担金の徴収猶予制度/16 介護保険料・介護保険利用者負担額減免/17 水道料金の減免・納期限延長/18 心と体の健康相談/19 被災家屋の安全性に関する相談/20 農業被害の相談/21 被災者が建築する応急仮設建築物等の確認申請不要の周知/22 公的住宅への一時入居希望受付/23 市営住宅の4月募集の中止

③ 広報はちのへ4月号変更表

被災者総合相談窓口の受け付け状況

1 開設状況

開設時期 平成23年3月17日（木）から

受付時間 土日祝日を含む毎日午前9時から午後6時まで

場 所 八戸ポータルミュージアムはっち5階

取扱業務 担当する部署の職員が次の申請受け付けや相談に応じる。

- り災証明の申請
- 住宅の一時入居受け付け
- 災害ごみの処理相談
- 心と体の健康相談
- 家屋の危険度判定に関する相談
- 災害ボランティアへの依頼

2 窓口開設の周知方法

- 報道機関に対する情報提供（3月16日）
- 八戸市ホームページに掲載（3月16日）
- 八戸市安全安心メールで配信（3月16日）
- テレビ広報（3月19日 RAB,ATV,HTV）、ラジオ広報（3月21日 BeFM）で放送
- 避難所へちらし配布（3月17日）

3 受け付け状況

月日	り災証明	住宅希望	ごみ処理	健康相談	家屋相談	約所依頼	その他	合計	累計
3/17	72	24	21	1	8	1	2	129	129
3/18	77	27	25	1	5	7	5	147	276
3/19	56	21	17	1	6	0	1	102	378
3/20	42	11	11	0	3	1	4	72	450
3/21	46	19	7	1	4	1	4	82	532
3/22	64	3	6	1	3	3	5	85	617
合計	385	105	87	5	29	13	21	617	617

被害家屋調査結果

○住家

り災証明 の区分	棟数	左の内訳	損害の程度	判断の目安
全壊	218	28	全壊、流出等により家屋の原形をとどめないとき又は復旧不能のとき	
		190	住家の損壊部分の床面積が、その建物の延床面積の7割以上に達したもの、または、経済的被害が5割以上に達する程度のもの	浸水深 2.0m以上
大規模半壊	68		住家の損壊部分の床面積が、その建物の延床面積の5割以上7割未満、または、経済的被害が4割以上5割未満に達する程度のもの	浸水深 1.5m以上 2.0m未満
半壊	389		住家の損壊が甚だしいが、補修すれば再使用できる程度のもの。損壊部分が、延床面積の2割以上5割未満程度のもの。または、経済的被害が2割以上4割未満程度のもの。	浸水深 0.5m以上 1.5m未満
一部破損	359		建物の一部が破損したもの(ただし、窓ガラス等の数枚破損した程度の軽微な被害は除く)。今回の場合は、半壊に至らない床上浸水	浸水深 0.5m未満
計	1,034			

【地区別集計】

地区名	全壊	全壊(7割以上)	大規模半壊	半壊	一部破損	計
市川	10	136	10	32	59	247
下長				40	27	67
沼館・江陽				78	106	184
小中野		1		20	53	74
湊・白銀	1	14	39	193	97	344
鮫・南浜	17	39	19	26	17	118
計	28	190	68	389	359	1,034
		218				

○非住家 ※会社・事業所・店舗については、一般家屋と同規模程度のを調査対象とした。

	棟数	左の内訳	非住家の種類
全壊	332	194	倉庫・物置・小屋 522棟 会社・事業所(一般家屋と同規模程度のもの) 117 店舗 () 26 不明 245
		138	
大規模半壊	94		
半壊	273		
一部破損	211		
計	910		

調査班(住民税課・資産税課・収納課)、調査実施日:平成23年3月16日(水)～21日(月)

廃棄物処理の状況について

1 災害ごみについて

	収 集 状 況	仮 置 場
一般住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終了：新湊、江陽、小中野 ・ 作業中：市川橋向、河原木浜名谷地、鮫 ※他地区も順次実施していく	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部終末処理場 ・ 水産加工団地運動場
事業所関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、各社敷地内に積み置き中 ・ 自ら処理したい場合は、右の仮置場へ 対象：がれき類、泥、土砂など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部終末処理場 ・ 水産加工団地運動場 ・ 旧食肉処理場 (泥、土砂のみ)

2 家庭ごみについて

	収 集 状 況
可燃ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月24日(木)、25日(金)に限り収集する ・ 各地区の指定曜日に集積所へ ・ 道路交通に支障が生じないよう各家庭4袋まで ※来週3月28日(月)以降の収集は未定 (燃料が確保され次第、再開の予定)
不燃ごみ 資源物類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、休止中 (燃料が確保され次第、再開の予定)

市営住宅への一時入居の変更について

入居希望の全世帯に提供できる住宅が確保できることとなったことから、市営住宅への一時入居選考にあたっての抽選方式を取り止め、応募者全員の入居希望地区を聞き取りして、可能な限りそれに沿えるよう市が住宅を割り当てることとする。

記

- ① 一時入居を希望する全世帯に対して、市営住宅、県営住宅、雇用促進住宅、国家公務員宿舎を含め提供する。
- ② 入居する住宅の割り振りについては、世帯人員、世帯構成、高齢者・障がい者の有無等、世帯の状況、コミュニティや近所付き合いのまとまりなどをできるだけ考慮した上で、調整し決定する。
- ③ 入居希望の地区（団地）については、最大限配慮する。

◆ 確保可能な戸数

市営住宅：41戸

県営住宅：17戸

雇用促進住宅：155戸

国家公務員宿舎：39戸 合計252戸

◆ 23日14時現在の申し込み状況

132戸

◆ 入居条件

- ・ 入居期間：2年
- ・ 家賃：無料
- ・ 敷金及び保証人：免除
- ・ 光熱費及び共益費：実費負担

第8回八戸市災害対策本部員会議 報告事項

平成23年3月23日
市民病院

No.	項目	現状	今後の対応	備考
1	入院	① 14日から18日まで定時手術を延期。ただし、緊急手術は対応。 ② 22日から定時手術を再開。	① 今後の医薬品、医療材料の納品状況により、定時手術の実施予定が決定する。	
2	外来	① 通常どおり診療。 ② ガソリン不足で来院不可能な患者に対し、院外処方箋を患者指定の調剤薬局へFAXで送信している。	① 避難してきた妊婦等の健診を受け入れる。 ② ガソリン不足が解消され次第、院外処方箋をFAXした患者の来院を促す。	① これまでの妊婦検診関係問合件数は4件。うち受診は1件。 ② FAXした院外処方箋の件数は、15日から22日まで34件。
3	人員体制	① 看護局職員について、ガソリン不足を受け、3交替勤務を2交替勤務としている。 ② 各病棟内等に簡易ベッド2台を設置し、通勤が困難な職員が使用している。	① ガソリン不足が解消され次第、3交替勤務に戻す。	
4	医薬品、医療材料等	① 医薬品、医療用酸素の供給はほぼ安定してきているが、一部に供給が不安定なものがある。 ② 医療材料は、2週間分程度を確保しているが、一部供給に時間がかかるものがある。	① 引き続き、医薬品、医療用酸素の供給確保に努める。 ② 引き続き、医療材料の供給確保に努める。	※ 県及び県自治体病院開設者協議会に対し、供給不足の医療材料を要望している。
5	燃料、給食	① 燃料については、節電に努めながら、A重油の供給を確保している。 ② 入院患者給食用の食材については、概ね供給を確保しているが、一部給食メニューを制限している。	① 燃料不足が解消されるまで、引き続き、A重油の供給確保に努める。 ② 引き続き、食料の供給確保に努める。 なお、24日(木)から通常メニューに復帰の予定。	※ エネルギー庁からの不足エネルギー照会に対し、重油を要請中。
6	災害支援(医師派遣等)	① これまで、DMATとしてドクターカーにて4回・延16人、ドクターヘリにて2回・延6人のスタッフを派遣。 ② 検案(検死)医師の派遣要請に対し、3人の医師を登録。	① 今後も、国からの要請に応じて支援活動を継続。 ② 県医師会からの要請を待つて派遣。	※ DMAT 1) 11～12日、大船渡他、5人、車 2) 13日、花巻市、3人、ヘリ 3) 13～15日、久慈市、4人、車 4) 15～17日、宮古市、3人、車 5) 15日、宮古市、3人、ヘリ 6) 18～20日、福島県、4人、車
7	患者受入	① 3月23日(水)現在で、82人の災害関係患者を診療。 ② 日本病院会からの照会に対し、20人の患者受入が可能と回答。 ③ 日本透析医会からの照会に対し、5～10人の受入れが可能と回答。	① 今後も災害関係患者の診療を継続。 ② 受入要請を待つて対応。 ③ 受入要請を待つて対応。	① 災害発生当初の外傷患者等、直接の被災患者に対し、最近は、ボランティア活動中の外傷等の患者が増加している。

市営バスの運行について

1. 運休区間の再開について

	3月23日(水)までの運行	3月24日(木)からの運行
1. 運行時間帯 (1) 運行ダイヤ	○日曜・祝日ダイヤで運行	○変更なし
(2) 運休時間	○各路線の出発時刻が ①12:00～16:00 } の便は運休 ②19:00以降	○変更なし
2. 運休区間	① 鮫線 (湊本町～漁港通～鮫小学校通) ② 多賀台団地線 (八太郎～三菱製紙前～多賀台団地) ③ 種差線 (法師浜～大久喜～金浜小学校前) ④ 市内循環線	○運行を再開する。 ※なお、「種差線」に関しては、 JR八戸線の「鮫駅～久慈駅 間」が運休していることか ら、日曜・祝日ダイヤどおり で全便運行する。

2. 今後の運行の見通しについて

- ・燃料油が安定的に確保できるまでは、当面の間、日祝ダイヤの限定ダイヤで運行する。

教育施設等の状況

施設名	授業、開館等の状況	被害の状況
市立小・中学校	3月17日以降平常授業(3月25日修了式)	建物被害 〔・小学校38校〕 〔・中学校16校〕 備品・教材被害
市立豊崎幼稚園	年度末休業中(3月16日修了証書授与式) 絵本の貸出・返却は予定通り実施	
学校給食センター	3月22日から給食中止 (出校・帰宅時刻、弁当持参の有無等については、各学校にお問い合わせください。)	各給食センター建物被害
総合教育センター	平常どおり	ハードディスク破損(復旧済)
児童科学館	・1階(視聴覚室、講義室、図書室) 3月19日から開館 開館時間 8:30~16:00 ・2階(科学展示)及びプラネタリウム 3月26日(土)、27日(日)に限り開館 3月29日(火)以降の開館については未定	建物被害
図書館(本館)	開館時間 9:00~17:00	建物被害
南郷図書館	開館時間 9:00~17:00	建物被害
図書情報センター	開館時間 10:00~17:00	
移動図書館	3月16日から巡回中止	
地区公民館	避難所開設6館(23日朝現在) 自主クラブ等に使用自粛要請	建物被害(10公民館)
瑞豊館	自主クラブ等に使用自粛要請	
文化財		丹後平古墳群、天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地、その他史跡説明板等に被害の報告
博物館	休館中(3月31日まで)	冷暖房システム等に被害
美術館	休館中(3月31日まで)	建物被害
史跡根城の広場	平常どおり	
縄文学習館	休館中(3月31日まで)	
南郷歴史民俗資料館	休館中(3月31日まで)	
勤労青少年ホーム	講座等休止(3月31日まで) クラブ活動自粛要請	

東北地方太平洋地震対応報告（3月23日）

1. 漏水箇所

受付 97 件うち 90 件の修理完了（残 7 件の内 個人関係 1 件）

2. 水源

蟹沢浄水場 取水停止中 ※白山浄水場の補給により断水なし

3月23日 14:00 濁度 蟹沢 1.50 三島（白銀 0.13 鉄砲 0.18） 島守 0.17

3. 他団体への応援

八戸市南郷区古里小規模水道（給水タンク 1 台 職員 2 名対応） 3月15日終了
久慈市水道事業所 最大 11 台対応、17日 4 台 18日から 1 台 3月19日終了
石巻地方広域水道企業団 3月16日から開始

第 1 陣 9 名 3月16日 17:45 出発

（職員 9 名 給水車 2 台、トラック、ワゴンの計 4 台）

第 2 陣 5 名 3月19日 10:00 出発 1 名現地継続 合計 6 名

（職員 3 名、北奥羽 1 名、管工事協会 2 名）

第 3 陣 5 名 3月22日 8:30 出発 1 名現地継続 合計 6 名

（職員 3 名、北奥羽 1 名、管工事協会 2 名）

第 4 陣 現地 6 名体制 3月25日（金）9:00 出発予定

第 5 陣 現地 6 名体制 3月28日（月）9:00 出発予定

4. 水道水の放射能測定状況

青森県では、県内で青森市の 1 箇所（青森市水道部給水栓）で測定しているので、企業団としては、この結果を基に判断していきたい。

3月22日測定結果 I-131 不検出 Cs-137 不検出

活性炭による除去効果はあるとの知見があるが、企業団では白山浄水場において常時粉末活性炭処理を行っている。

水道料金の減免・納期限延長を受付します

このたびの平成 23 年東北地方太平洋沖地震により、被災・避難された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

八戸圏域水道企業団は、このたびの地震・津波により被災されたお客さまにつきまして、水道料金の減免・納期限延長を受付いたします。(給水条例第 46 条に基づく措置)

受付内容

今回の震災の被害状況により、水道料金の「減額・免除」(減免)「納期限の延長」(猶予)が受けられる場合があります。

対象者・・・建物の損壊等により水道の使用が困難になった方

復旧作業で清掃に水道を使用した方

漏水により水道(給水装置)を修理した方

申請に必要な書類・・・水道料金減免・猶予申請書

被害を証明する書類(り災証明書の写しなど)ほか

申請書の配置予定・・・各避難所 12ヶ所(八戸9、階上1、おいらせ2)のほか、

企業団ホームページ、はっち、北奥羽広域水道総合サービス、

企業団料金課の各窓口

※申し出があれば、申請書を郵送いたします。

申し出があった方については、災害以後の検針における状況で調査し決定いたします。

検針日程は、八戸市の鮫、湊地区は 4 月 21 日以後

八戸市の市川地区は 3 月 22 日以後

階上町は 3 月 22 日以後

おいらせ町は 4 月 21 日以後

お問い合わせ

八戸圏域水道企業団 料金課

TEL 0178-70-7012

FAX 0178-70-7018